



令和4年2月4日
統合幕僚監部

令和3年度日米共同統合演習（指揮所演習）の実施について

自衛隊と米インド太平洋軍は、令和4年1月27日（木）から2月3日（木）の間、令和3年度日米共同統合演習（指揮所演習）を実施しました。

本演習は、益々複雑化する安全保障環境下において、インド太平洋地域における不測の事態や危機に際して、自衛隊と米軍が即応し得ることを確認し、相互運用性を向上することを目的に実施したものです。

演習を終え、山崎統合幕僚長は、「本演習では、すべての領域を横断し、いまだかつてなく統合された形での実践的な演練を通じ、日米の相互運用性を更に強化することができた。これにより、現在の情勢に的確に対応し得る日米共同対処能力の強化と、日米同盟による実効的な抑止の強化につながった。」と述べました。

アクイリーノ米インド太平洋軍司令官は、「本演習は、日米チームが各種複雑な一連の課題に取り組むことにより、米軍と自衛隊の相互運用性を向上するようデザインされたものである。本演習を通じ、日米両国に直接かつ即座に影響を及ぼしうる地域の危機に対し、日米が共同し効果的に対応する能力を確固たるものとすることができた。」と述べました。

自衛隊と米軍はこのような演習を通じ、自由で開かれたインド太平洋の実現に積極的に貢献するための態勢と能力を維持・強化していきます。